

PCT/JP 03/09508

Rec'd PCT/PTO 21 JAN 2005

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

28.07.03

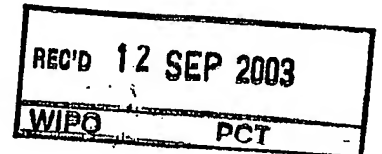
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2002年 7月31日

出 願 番 号
Application Number: 特願2002-223553
[ST. 10/C]: [JP2002-223553]

出 願 人
Applicant(s): 株式会社日本コンラックス



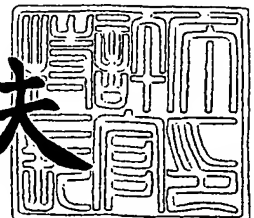
PRIORITY
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 8月28日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願
【整理番号】 36016
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コンラックス内

【氏名】 太田 通博

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コンラックス内

【氏名】 吉田 裕昭

【発明者】

【住所又は居所】 東京都板橋区小豆沢 2 丁目 3 番 9 号 4 0 3 号

【氏名】 禿 節史

【特許出願人】

【識別番号】 000152859

【氏名又は名称】 株式会社日本コンラックス

【代理人】

【識別番号】 100071054

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 高久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006460

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報伝達方法および装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に接続可能な情報伝達装置を用いて前記オフライン機器が有する情報をセンタ装置へ伝達する情報伝達方法において、

前記情報伝達装置を前記オフライン機器に接続することにより前記情報を該情報伝達装置の内部メモリに記憶し、

その後、該情報伝達装置を前記通信端末に接続し、

前記情報伝達装置は、前記通信端末に接続された状態で該通信端末を制御することにより該情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報を前記センタ装置に自動転送する

ことを特徴とする情報伝達方法。

【請求項 2】 前記情報伝達装置は、

前記通信端末による前記センタ装置への情報転送のための操作手順情報を記憶し、

該記憶した操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報の前記センタ装置への自動転送を制御する

ことを特徴とする請求項 1 記載の情報伝達方法。

【請求項 3】 前記情報伝達装置は、

前記オフライン機器と接続すると、能動的に前記情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、

前記通信端末と接続すると、能動的に該通信端末を制御することにより前記情報を前記センタ装置に自動転送する

ことを特徴とする請求項 1 記載の情報伝達方法。

【請求項 4】 オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に接続可能な情報伝達装置を用いてセンタ装置が有する情報を前記オフライン機器に伝達する情報伝達方法において、

前記情報伝達装置を前記通信端末に接続し、
前記情報伝達装置は、前記通信端末に接続された状態で該通信端末を制御することにより前記センタ装置が有する情報を自動取得し、
該自動取得した情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、
その後、該情報伝達装置を前記オフライン機器に接続し、
前記情報伝達装置は、該情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報を前記オフライン機器に転送すること
ことを特徴とする情報伝達方法。

【請求項 5】 前記情報伝達装置は、
前記通信端末による前記センタ装置からの情報取得のための操作手順情報を記憶し、
該記憶した操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記情報のセンタ装置からの自動取得を制御すること
ことを特徴とする請求項 4 記載の情報伝達方法。

【請求項 6】 前記情報伝達装置は、
前記通信端末と接続すると、能動的に該通信端末を制御することにより前記センタ装置から前記情報を自動取得し、該自動取得した情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、
前記オフライン機器と接続すると、能動的に前記情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報を該オフライン機器に転送すること
ことを特徴とする請求項 4 記載の情報伝達方法。

【請求項 7】 オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に構成され、情報を前記通信端末を介してやり取りする情報伝達装置において、
前記オフライン機器に接続された際に該オフライン機器が有する情報を記憶する内部メモリと、
前記通信端末に接続された際に、該通信端末を制御して、前記内部メモリに記憶された情報を前記センタ装置に自動転送する自動通信制御手段と
を具備することを特徴とする情報伝達装置。

【請求項 8】 前記自動通信制御手段は、

前記通信端末に接続された際に、該通信端末を制御して、前記センタ装置が有する情報を自動取得し、

該自動取得した情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、

前記自動通信制御手段で取得した情報は、前記情報伝達装置と前記オフライン機器とが接続された際に、該オフライン機器に転送される

ことを特徴とする請求項 7 記載の情報伝達装置。

【請求項 9】 前記自動通信制御手段は、

前記通信端末による前記センタ装置への情報転送のための第 1 の操作手順情報と、前記通信端末による前記センタ装置からの情報取得のための第 2 の操作手順情報とを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶した第 1 の操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報の前記センタ装置への自動転送を制御する第 1 の制御手段と、

前記記憶手段に記憶した第 2 の操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記センタ装置が有する情報の該センタ装置からの自動取得を制御する第 2 の制御手段と

を具備することを特徴とする請求項 8 記載の情報伝達装置。

【請求項 10】 前記通信端末に、前記自動通信制御手段による自動転送および自動取得の通信履歴を消去する指示を送信する通信履歴消去指示送信手段

を更に具備することを特徴とする請求項 7 記載の情報伝達装置。

【請求項 11】 前記自動通信制御手段による自動転送若しくは自動取得の通信状況を表示する表示手段

を更に具備することを特徴とする請求項 7 記載の情報伝達装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報伝達方法および装置に関し、特に、オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に接続可能な情報伝達装置を用いて、情報をやり取りする情報伝達方法および装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に、オフラインに設定されたパーソナルコンピュータ等においては、該パーソナルコンピュータの内部情報を他のパーソナルコンピュータ等に伝達する場合、このパーソナルコンピュータに着脱可能とされ、情報信号の書き込み及び読み出しが可能なフラッシュメモリ等の半導体メモリ装置に代表される種々の外部接続装置が利用されている。このような外部接続装置は、静止画、動画、音楽等といった情報を記録することができる。

【0003】

そして、通信端末が外部接続装置と接続することで、外部接続装置に記録された情報を容易に読み出すことができ、パーソナルコンピュータの内部保存許容量を越える情報を簡便に保存することができる。

【0004】

更に、インターネット等のネットワークの普及とともに、オンラインに設定可能なパーソナルコンピュータ等においては、インターネット等のネットワークから入手された情報を即座にネットワークに接続されたセンタ装置等に送信することを望むビジネスモデルが増加している。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上記従来の外部接続装置はメモリ装置としての機能しか持たず、例えば、外部接続装置に記録された情報を携帯電話機等の通信端末を介してセンタ装置に送信する場合、外部接続装置を通信端末に接続し、通信端末が外部接続装置に記憶された情報を読み出し、読み出した情報をセンタ装置に送信する一連の作業は、利用者が手動入力により行う必要がある。

【0006】

そのために、複雑な操作を必要とする場合は、誤入力の発生も考えられ、情報を正確にセンタ装置に送信できない事態が発生する可能性がある。

【0007】

そこで、本発明は、オフライン機器が持つ情報を簡単な操作で且つ確実にセン

タ装置に伝達すること、またはセンタ装置の情報を簡単な操作で且つ確実にオフライン機器に伝達することを可能にする情報伝達方法および装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項1の発明は、オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に接続可能な情報伝達装置を用いて前記オフライン機器が有する情報をセンタ装置へ伝達する情報伝達方法において、前記情報伝達装置を前記オフライン機器に接続することにより前記情報を該情報伝達装置の内部メモリに記憶し、その後、該情報伝達装置を前記通信端末に接続し、前記情報伝達装置は、前記通信端末に接続された状態で該通信端末を制御することにより該情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報を前記センタ装置に自動転送することを特徴とする。

【0009】

また、請求項2の発明は、請求項1の発明において、前記情報伝達装置は、前記通信端末による前記センタ装置への情報転送のための操作手順情報を記憶し、該記憶した操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報の前記センタ装置への自動転送を制御することを特徴とする。

【0010】

また、請求項3の発明は、請求項1の発明において、前記情報伝達装置は、前記オフライン機器と接続すると、能動的に前記情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、前記通信端末と接続すると、能動的に該通信端末を制御することにより前記情報を前記センタ装置に自動転送することを特徴とする。

【0011】

また、請求項4の発明は、オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に接続可能な情報伝達装置を用いてセンタ装置が有する情報を前記オフライン機器に伝達する情報伝達方法において、前記情報伝達装置を前記通信端末に接続し、前記情報伝達装置は、前記通信端末に接続された状態で該通信端末を制御する

ことにより前記センタ装置が有する情報を自動取得し、該自動取得した情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、その後、該情報伝達装置を前記オフライン機器に接続し、前記情報伝達装置は、該情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報を前記オフライン機器に転送することを特徴とする。

【0 0 1 2】

また、請求項 5 の発明は、請求項 4 の発明において、前記情報伝達装置は、前記通信端末による前記センタ装置からの情報取得のための操作手順情報を記憶し、該記憶した操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記情報のセンタ装置からの自動取得を制御することを特徴とする。

【0 0 1 3】

また、請求項 6 の発明は、請求項 4 の発明において、前記情報伝達装置は、前記通信端末と接続すると、能動的に該通信端末を制御することにより前記センタ装置から前記情報を自動取得し、該自動取得した情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、前記オフライン機器と接続すると、能動的に前記情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報を該オフライン機器に転送することを特徴とする。

【0 0 1 4】

また、請求項 7 の発明は、オフライン機器および通信端末にそれぞれ着脱自在に構成され、情報を前記通信端末を介してやり取りする情報伝達装置において、前記オフライン機器に接続された際に該オフライン機器が有する情報を記憶する内部メモリと、前記通信端末に接続された際に、該通信端末を制御して、前記内部メモリに記憶された情報を前記センタ装置に自動転送する自動通信制御手段とを具備することを特徴とする。

【0 0 1 5】

また、請求項 8 の発明は、請求項 7 の発明において、前記自動通信制御手段は、前記通信端末に接続された際に、該通信端末を制御して、前記センタ装置が有する情報を自動取得し、該自動取得した情報を前記情報伝達装置の内部メモリに記憶し、前記自動通信制御手段で取得した情報は、前記情報伝達装置と前記オフライン機器とが接続された際に、該オフライン機器に転送されることを特徴とする。

る。

【0016】

また、請求項9の発明は、請求項8の発明において、前記自動通信制御手段は、前記通信端末による前記センタ装置への情報転送のための第1の操作手順情報と、前記通信端末による前記センタ装置からの情報取得のための第2の操作手順情報とを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶した第1の操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記情報伝達装置の内部メモリに記憶された情報の前記センタ装置への自動転送を制御する第1の制御手段と、前記記憶手段に記憶した第2の操作手順情報に基づき前記通信端末を制御することにより前記センタ装置が有する情報の該センタ装置からの自動取得を制御する第2の制御手段とを具備することを特徴とする。

【0017】

また、請求項10の発明は、請求項7の発明において、前記通信端末に、前記自動通信制御手段による自動転送および自動取得の通信履歴を消去する指示を送信する通信履歴消去指示送信手段を更に具備することを特徴とする。

【0018】

また、請求項11の発明は、請求項7の発明において、前記自動通信制御手段による自動転送若しくは自動取得の通信状況を表示する表示手段を更に具備することを特徴とする。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係わる情報伝達方法および装置の実施の形態について添付図面を参照して詳細に説明する。

【0020】

図1は、本発明に関わる情報伝達方法および装置による情報伝達システムの概略構成の一例を示すブロック図である。

【0021】

図1に示すように、本発明に関わる情報伝達方法および装置による情報伝達システムはオフライン機器1、情報伝達装置2、通信端末3、センタ装置4から構

成されている。

【0022】

ここで、オフライン機器1は、ネットワーク等に接続していない機器であり、例えば、カメラおよびステレオ等のAV機器、冷蔵庫および洗濯機等の家電機器、自動販売機等の屋外設置機器、更には自動車もこのオフライン機器に含まれる。

【0023】

また、センタ装置4は、オフライン機器1を管理する端末であり、例えば、オフライン機器1がAV機器の場合は、画像または動画等を保管する端末等であり、オフライン機器1が家電機器の場合は、カスタマーサービスセンターの端末等であり、オフライン機器1が屋外設置機器の場合は、売上を管理する端末等である。

【0024】

まず、利用者がオフライン機器1の所定の外部接続部（図示せず）に情報伝達装置2を接続すると、オフライン機器1は情報を情報伝達装置2に送信し、情報伝達装置2は受信した情報を記憶する。

【0025】

なお、上記説明において、オフライン機器1と情報伝達装置2とを物理的に接続して情報を送受する構成を一例にしているが、赤外線等の無線通信を用いて情報を送受する構成を用いても良く、情報を送受する手段については特に限定しない。

【0026】

次に、利用者は情報を記憶した情報伝達装置2をオフライン機器1から外し、利用者が所有する通信端末3の所定の外部接続部（図示せず）に情報伝達装置2を接続すると、情報伝達装置2が通信端末3を制御することで、通信端末3とセンタ装置4とが通信を開始し、通信端末3は情報伝達装置2が記憶している情報をセンタ装置4に送信する。

【0027】

なお、上記説明において、情報伝達装置2と通信端末3とを物理的に接続して

情報を送受する構成を一例にしているが、赤外線等の無線通信を用いて情報を送受する構成を用いても良く、情報を送受する手段については特に限定しない。

【0028】

また、以下に記述する構成でも適用可能である。利用者が通信端末3の所定の外部接続部に情報伝達装置2を接続すると、情報伝達装置2が通信端末3を制御することで、通信端末3とセンタ装置4とが通信を開始し、センタ装置4から通信端末3に情報が送信され、情報伝達装置2は通信端末3が受信した情報を記憶する。そして、利用者は情報を記憶した情報伝達装置2を通信端末3から外し、オフライン機器1の所定の外部接続部に情報伝達装置2を接続すると、情報伝達装置2からオフライン機器1に自動的に情報が転送される。

【0029】

次に、オフライン機器1と情報伝達装置2とを接続することで行われる動作について説明する。

【0030】

図2は、オフライン機器1および情報伝達装置2の概略構成の一例を示すブロック図である。

【0031】

ここで、オフライン機器1は、オフライン機器1全体の制御を統括するCPU (Central Processing Unit) である制御部5、情報伝達装置2のインターフェースと接続する外部接続部6、オフライン機器1全体を制御する制御プログラムが格納されているROM (Read Only Memory) であるシステム制御部7、オフライン機器1に関する情報（例えば、AV機器であれば画像または動画等に関する情報、家電機器であれば使用電力または故障等の情報、屋外設置機器であれば売上またはメンテナンス等の情報）を作成する情報作成部8、情報作成部8で作成した情報を記憶する記憶部9、オフライン機器1の状態または情報伝達装置2との通信状態等を表示する表示部10から構成される。

【0032】

また、情報伝達装置2は、情報伝達装置2全体の制御を統括するCPUである制御部11、オフライン機器の外部接続部6と接続するインターフェース12、

記憶部 13、情報伝達装置 2 の状態またはオフライン機器 1 との通信状態等を表示する表示部 14、履歴消去ボタン 15 から構成されている。なお、記憶部 13 は、オフライン機器 1 から受信した情報、および情報伝達装置 2 と通信端末 3 とが接続する際に、通信端末 3 がセンタ装置 4 との通信を開始するための通信端末 3 の操作手順情報を記憶する。

【0033】

なお、図 2 において、オフライン機器の外部接続部 6 とインターフェース 12 とを物理的に接続して情報を送信する構成を一例にしているが、赤外線等の無線通信を用いて情報を送信する構成でも適用可能で、情報を送信する手段については特に限定しない。

【0034】

また、オフライン機器の表示部 10 および情報伝達装置の表示部 14 は、LED 等を利用して状態を表示する構成でも適用可能である。

【0035】

また、情報伝達装置 2 の履歴消去ボタン 15 の機能については、後述にて詳細に説明する。

【0036】

ここで、オフライン機器の記憶部 9 に記憶された情報を情報伝達装置の記憶部 13 に記憶する場合は以下の動作が行われる。オフライン機器の外部接続部 6 とインターフェース 12 とを接続すると、能動的に情報伝達装置 2 はインターフェース 12 を介してオフライン機器の記憶部 9 に記憶された情報を取得して情報伝達装置の記憶部 13 に記憶する。そして、オフライン機器 1 から情報伝達装置 2 への情報の送信が終了すると、利用者はオフライン機器の外部接続部 6 とインターフェース 12 との接続を外す。

【0037】

また、情報伝達装置の記憶部 13 に記憶された情報をオフライン機器の記憶部 9 に記憶する場合は以下の動作が行われる。オフライン機器の外部接続部 6 とインターフェース 12 とを接続すると、能動的に情報伝達装置 2 はインターフェース 12 を介して情報伝達装置の記憶部 13 に記憶された情報をオフライン機器 1

に転送し、オフライン機器 1 は転送された情報をオフライン機器の記憶部 9 に記憶する。そして、情報伝達装置 2 からオフライン機器 1 への情報の送信が終了すると、利用者はオフライン機器の外部接続部 6 とインターフェース 12 との接続を外す。

【0038】

次に、情報伝達装置 2 と通信端末 3 とを接続することで行われる動作について説明する。

【0039】

図 3 は、情報伝達装置 2 および通信端末 3 の概略構成の一例を示すブロック図である。

【0040】

ここで、情報伝達装置 2 は制御部 11、通信端末の外部接続部 17 と接続するインターフェース 12、記憶部 13、表示部 14、履歴消去ボタン 15 から構成される。

【0041】

また、通信端末 3 は、通信端末 2 全体の制御を統括する CPU である制御部 16、情報伝達装置 2 のインターフェース 12 と接続する外部接続部 17、通信回線等を介してセンタ装置 4 との間で情報の送受信を行う通信制御部 18、通信端末 3 全体を制御する制御プログラムが格納されている ROM であるシステム制御部 19、制御プログラムが使用するワークエリア等が割り当てられている RAM (Random Access Memory) 20、情報伝達装置 2 との通信状態、センタ装置 4 との通信状態または情報伝達装置 2 から受信した情報等を表示する表示部 21、センタ装置 4 との通信履歴等を記憶する記憶部 22 から構成されている。

【0042】

なお、図 3 において、通信端末の外部接続部 17 とインターフェース 12 とを物理的に接続して情報を送信する構成を一例にしているが、赤外線等の無線通信を用いて情報を送信する構成でも適用可能で、情報を送信する手段については特に限定しない。

【0043】

ここで、利用者が図3に示すようにインターフェース12と通信端末の外部接続部17とを接続すると、自動的に情報伝達装置の制御部11は記憶部13に記憶している操作手順情報を読み出し、読み出した操作手順情報に基づき、インターフェース12を介して通信端末の制御部16を制御することで、通信制御部18は図示しないセンタ装置4にアクセスし、通信端末3とセンタ装置4とが通信を開始する。

【0044】

ここで、情報伝達装置の記憶部13に記憶された情報をセンタ装置4に送信する場合は以下の動作が行われる。通信端末3とセンタ装置4との通信が開始すると、情報伝達装置2は情報伝達装置の記憶部13に記憶している情報を通信端末3の通信制御部18を介して情報をセンタ装置4に送信し、通信端末3はセンタ装置4との通信履歴を通信端末の記憶部22に記憶する。そして、通信端末3からセンタ装置4への情報の送信が終了すると、利用者はインターフェース12と通信端末の外部接続部17との接続を外す。

【0045】

また、センタ装置4の情報を通信端末3が受信する場合は以下の動作が行われる。通信端末3とセンタ装置4との通信が開始すると、通信端末3はセンタ装置4から送信される情報を通信制御部18で受信し、受信した情報を情報伝達装置の記憶部13に記憶し、センタ装置4との通信履歴を通信端末の記憶部22に記憶する。そして、センタ装置4から通信端末3への情報の送信が終了すると、利用者はインターフェース12と通信端末の外部接続部17との接続を外す。

【0046】

また、通信端末3からセンタ装置4への情報の送信が終了した際に、利用者が通信端末の記憶部22に記憶しているセンタ装置4との通信の履歴を消去することを望む場合、履歴消去ボタン15を操作等することで、情報伝達装置の制御部11は通信端末の記憶部22に記憶されている情報伝達装置2と通信端末3が接続されている際に通信した履歴の消去指示を通信端末の制御部22に送信する。そして、通信端末の制御部16は履歴の消去指示を受信すると、情報伝達装置2と通信端末3が接続されている際に通信した履歴を通信端末の記憶部22から消

去する。

【0047】

次に、本発明に関わる情報伝達システムにおけるオフライン機器1の情報をセンタ装置4に伝達する際の処理手順について図4のフローチャートを参照して説明する。

【0048】

オフライン機器が情報を生成し（ステップS401）、情報伝達装置をオフライン機器に接続し（ステップS402）、オフライン機器が情報を情報伝達装置に送信し（ステップS403）、情報伝達装置は受信した情報を記憶し（ステップS404）、オフライン機器から情報伝達装置を外す（ステップS405）。

【0049】

そして、情報伝達装置を通信端末に接続すると（ステップS406）、情報伝達装置は通信端末とセンタ装置との通信を開始させ（ステップS407）、通信端末は情報伝達装置が記憶している情報をセンタ装置に送信し（ステップS408）、通信端末はセンタ装置との通信を終了すると（ステップS409）、通信端末はセンタ装置との通信履歴を記憶する（ステップS410）。

【0050】

そして、履歴消去ボタンを操作されることで通信履歴の消去を指示された場合（ステップS411でYES）、通信履歴を消去し（ステップS412）、通信端末から情報伝達装置を外し（ステップS413）、処理手順を終了する。

【0051】

図5は、通信端末3として携帯電話23等に情報伝達装置2を接続している状態を示す図である。

【0052】

図5に示すように、情報伝達装置2を携帯電話23等の外部接続部に接続すると、携帯電話23等とセンタ装置4との通信が開始し、情報伝達装置2に記憶されている情報がセンタ装置4に送信される。この時、携帯電話23等の表示部21に「センタ装置通信中」というメッセージが表示される。なお、通信中に情報伝達装置の表示部14であるLEDを点滅させ、通信が終了するとLEDを点灯

若しくは消灯する構成でも適用可能である。

【0053】

図6は、通信端末3としてPDA24等に情報伝達装置2を接続している状態を示す図である。

【0054】

図6に示すように、情報伝達装置2をPDA24等の外部接続部に接続された外部接続機器に接続すると、通信端末3とセンタ装置4との通信が開始し、情報伝達装置2に記憶されている情報がセンタ装置4に送信される。この時、PDA24等の表示部21に「センタ装置通信中」というメッセージが表示される。

【0055】

従って、情報伝達装置2を携帯電話23またはPDA24等のオンライン機器に接続することで、情報伝達装置2に記憶している情報を指定されたセンタ装置4等の管理端末に自動的に送信するため、確実に情報を伝達することが可能になる。

【0056】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、オフライン機器が持つ情報を簡単な操作で且つ確実にセンタ装置に伝達すること、またはセンタ装置の情報を簡単な操作で且つ確実にオフライン機器に伝達することを可能にするという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に関わる情報伝達方法および装置による情報伝達システムの概略構成の一例を示すブロック図である。

【図2】

オフライン機器1および情報伝達装置2の概略構成の一例を示すブロック図である。

【図3】

情報伝達装置2および通信端末3の概略構成の一例を示すブロック図である。

【図4】

本発明に関わる情報伝達システムにおけるオフライン機器 1 の情報をセンタ装置 4 に伝達する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図 5】

通信端末 3 として携帯電話 2 3 等に情報伝達装置 2 を接続している状態を示す図である。

【図 6】

通信端末 3 として P D A 2 4 等に情報伝達装置 2 を接続している状態を示す図である。

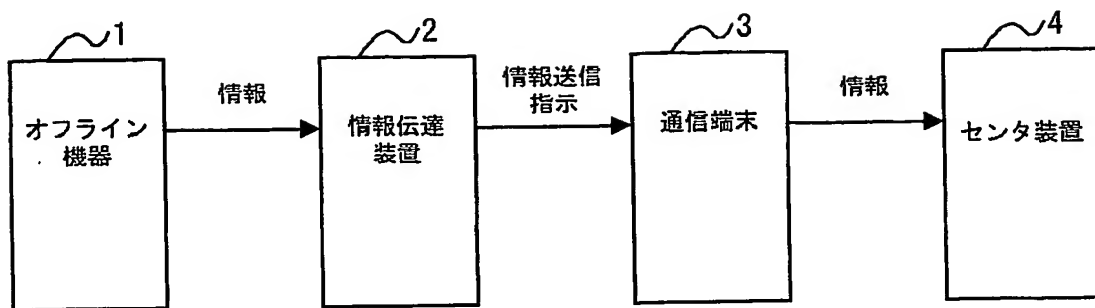
【符号の説明】

- 1 オフライン機器
- 2 情報伝達装置
- 3 通信端末
- 4 センタ装置
- 5 オフライン機器の制御部
- 6 オフライン機器の外部接続部
- 7 オフライン機器のシステム制御部
- 8 情報作成部
- 9 オフライン機器の記憶部
- 10 オフライン機器の表示部
- 11 情報伝達装置の制御部
- 12 インターフェース
- 13 情報伝達装置の記憶部
- 14 情報伝達装置の表示部
- 15 履歴消去ボタン
- 16 通信端末の制御部
- 17 通信端末の外部接続部
- 18 通信制御部
- 19 通信端末のシステム制御部
- 20 R A M

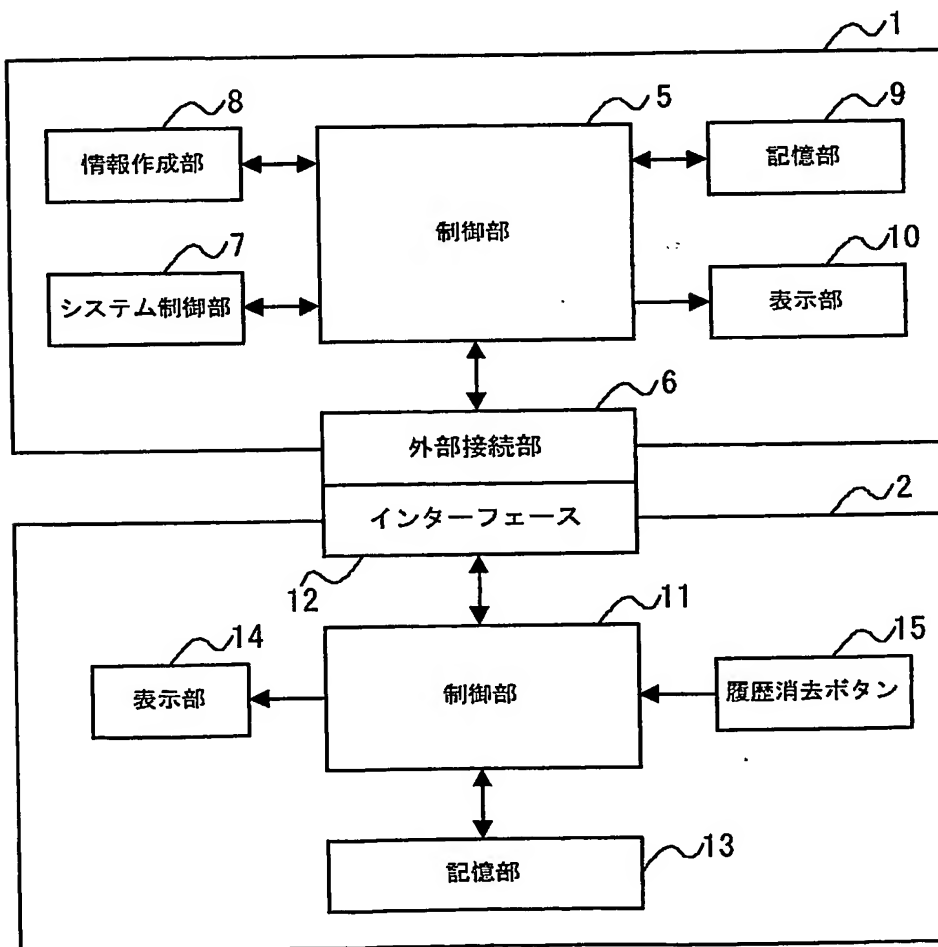
- 2 1 通信端末の表示部
- 2 2 通信端末の記憶部
- 2 3 携帯電話
- 2 4 P D A

【書類名】 図面

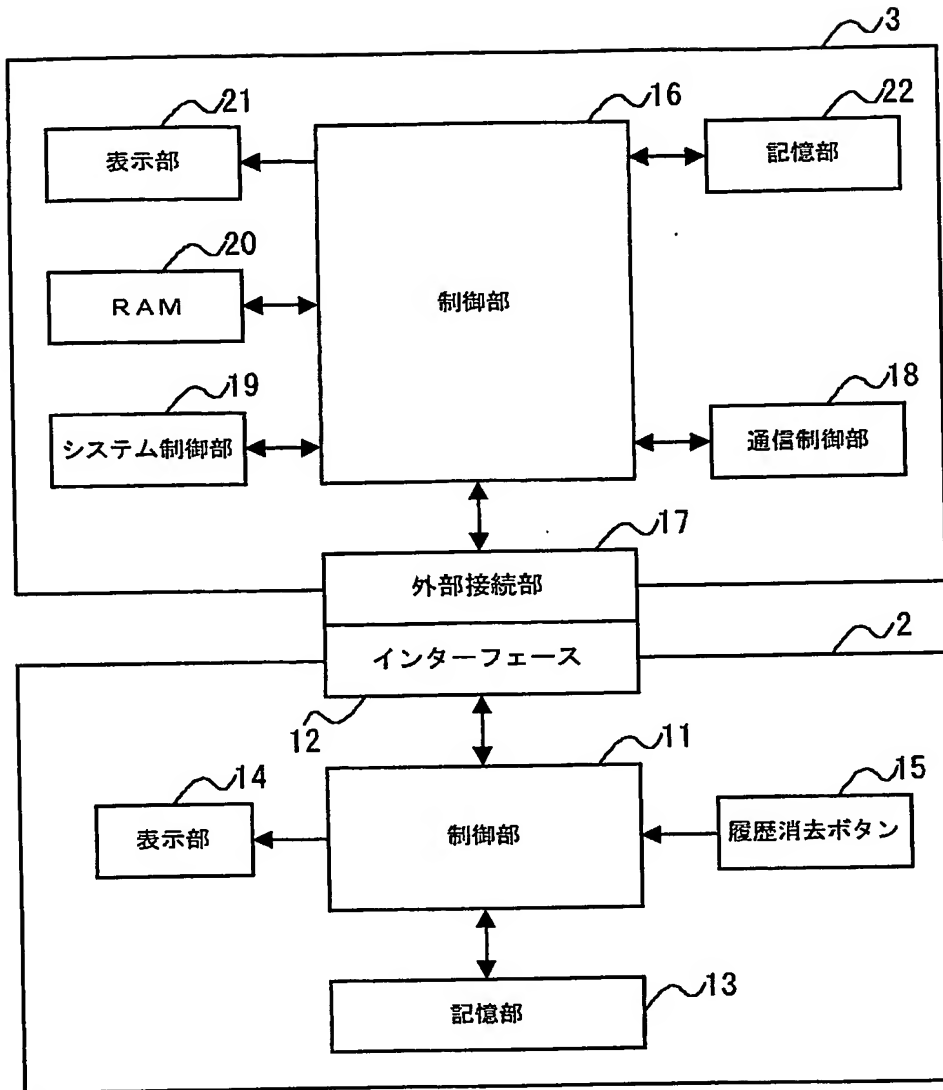
【図 1】



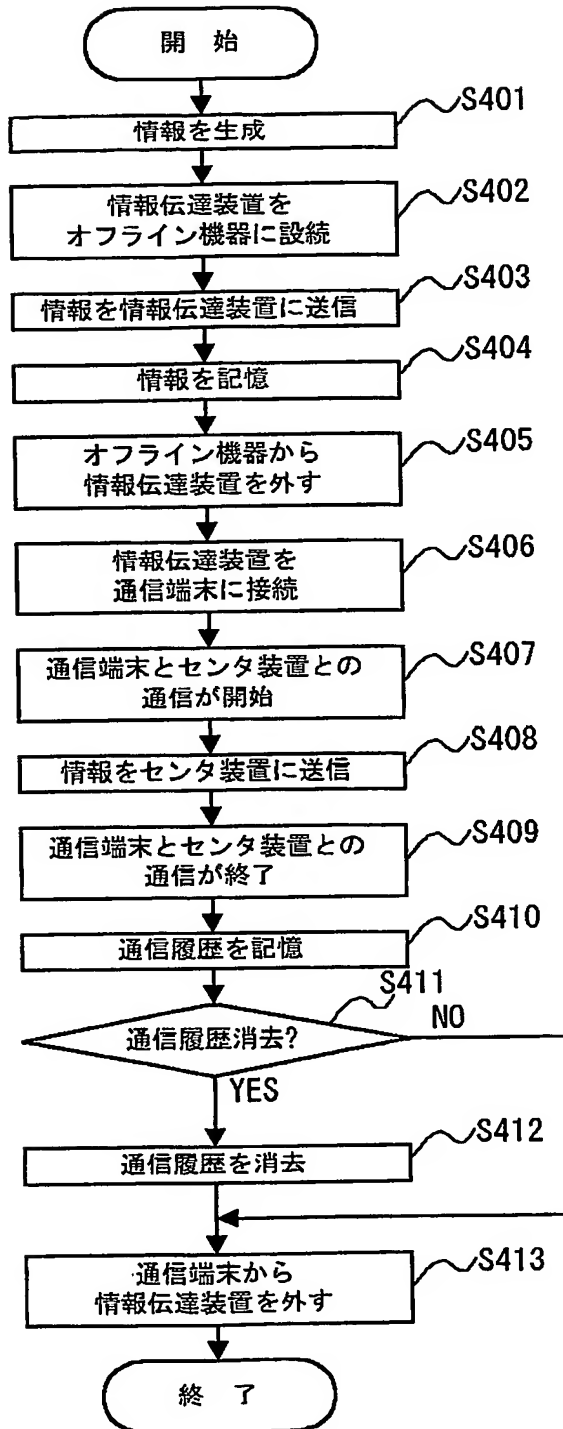
【図 2】



【図 3】



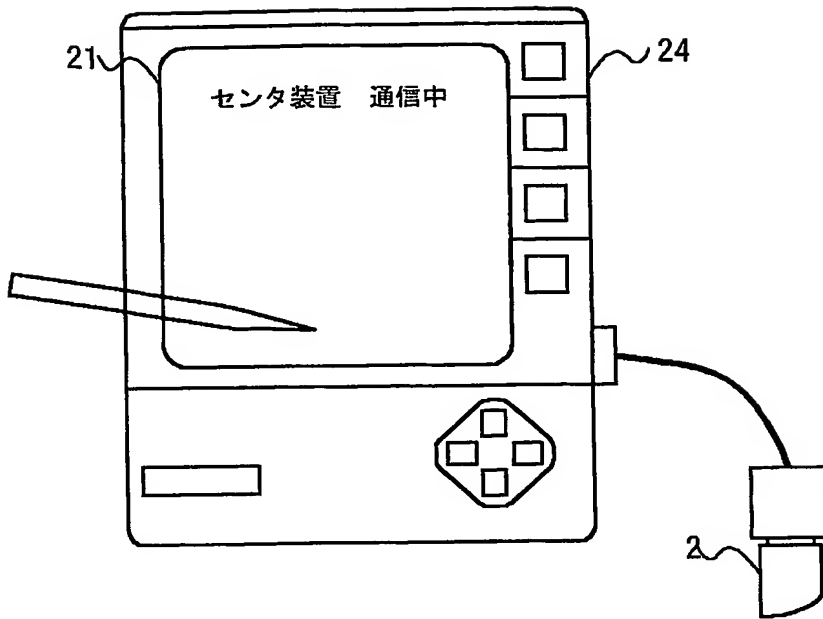
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 オフライン機器が持つ情報を簡単な操作で且つ確実にセンタ装置に伝達すること、またはセンタ装置の情報を簡単な操作で且つ確実にオフライン機器に伝達することを可能にする情報伝達方法および装置を提供する。

【解決手段】 利用者がオフライン機器 1 の所定の外部接続部に情報伝達装置 2 を接続すると、オフライン機器 1 は情報を情報伝達装置 2 に送信し、情報伝達装置 2 は受信した情報を記憶する。次に、利用者は情報を記憶した情報伝達装置 2 をオフライン機器 1 から外し、利用者が所有する通信端末 3 の所定の外部接続部に情報伝達装置 2 を接続すると、情報伝達装置 2 が通信端末 3 を制御することで、通信端末 3 とセンタ装置 4 とが通信を開始し、通信端末 3 は情報伝達装置 2 が記憶している情報をセンタ装置 4 に送信する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 2 - 2 2 3 5 5 3
受付番号	5 0 2 0 1 1 3 4 3 5 6
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0 0 9 7
作成日	平成 1 4 年 8 月 1 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成14年 7月31日

次頁無

特願 2 0 0 2 - 2 2 3 5 5 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 1 5 2 8 5 9]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 4 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号

氏 名

株式会社日本コンラックス